



物語コーポレーション

東証1部 3097 業種: 外食、小売

年末焼肉大人気

12月既存店売上高は2019年比107.0%、うち焼肉部門は117.8%

物語コーポレーション(3097、同社)は12月月次データを開示(速報ベース)。10月、11月に引き続き、売上高は好調である。特に、焼肉きんぐは、人流回復時に消費者から選好されやすい業態に成長したと当社は受け止めている。年末の新しい生活様式として、大人数の忘年会ではなく、少人数での会食(特に焼肉)を楽しむ人が増えている可能性がある。

直営店既存店売上高の前々年同月比は107.0%(当社推定、以下同様。前々年同月=100%、11月は108.5%)。うち、焼肉部門(焼肉きんぐ等)は117.8%(11月は119.6%)、ラーメン部門は102.0%(11月は96.7%)、ゆず庵部門は89.9%(11月は91.2%)、お好み焼部門は87.7%(11月は97.9%)。休日数は前々年同月よりも1日少なかった。

直営店既存店売上高の前年同月比は113.9%(前年同月=100%、11月は95.2%)。うち、焼肉部門は118.7%(11月は97.0%)、ラーメン部門は111.3%(11月は100.0%)、ゆず庵部門は100.6%(11月は85.6%)、お好み焼部門は104.5%(11月は85.4%)。休日数は前年同月と同じだった。

12月末の国内直営店舗数は352店舗(前月末比3店舗増、21/6期末比12店舗増)。

当面のリスク要因、中長期の見方

同社業態には、時間制の食べ放題を採用しているところが多い。また、テイクアウトやデリバリーには不向きである。今後、飲食店に時短営業要請を行う地域が増えた場合、テーブルの回転数が下がり、売上高に影響が出やすくなる点は認識しておきたい。ただし、これは外部要因による一時的な影響と見るべきであろう。10-12月の好業績は、同社主要業態(特に焼肉きんぐ)の人気の高さを示している。人気の秘訣は、業態のブランド価値を高め、オペレーションに磨きをかけるための努力を惜しまない同社の経営姿勢にあると思われる。同社では既存店業績の好調と積極的な新店戦略が両立しており、中長期的な成長余地が大きいと当社は見ている。

レーティング及び目標株価の根拠については、2021年6月22日付レポートをご参照下さい。

三田証券株式会社
調査部長 チーフアナリスト
清水 純一

jshimizu@mitasec.com

アップデート

レーティング

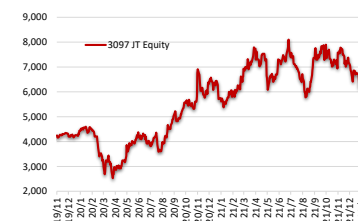
Buy

目標株価(円)	9,100
株価(円)(1/13)	6,070
時価総額(十億円)	73.4

変更の有無

レーティング	なし
目標株価	なし
業績予想	なし

株価推移(円)



出所: Bloomberg Finance LP

業績推移

	19/6	20/6	21/6	22/6予	23/6予	
売上高	十億円	58.9	58.0	64.0	74.9	83.8
営業利益	十億円	3.9	3.0	2.6	5.0	6.2
経常利益	十億円	4.7	3.0	4.3	6.0	6.2
当期純利益	十億円	2.9	0.5	2.7	3.8	4.0
EPS	円	244.1	37.9	226.0	319.0	333.4
BPS	円	1,461	1,444	1,625	1,900	2,154
DPS	円	45.0	47.5	60.0	80.0	90.0
PER	倍	17.6	110.7	26.9	19.0	18.2
PBR	倍	2.9	2.9	3.7	3.2	2.8
配当利回り	%	1.0	1.1	1.0	1.3	1.5
ROA	%	9.4	1.3	6.3	7.9	7.5
ROE	%	17.9	2.6	14.7	18.0	16.4

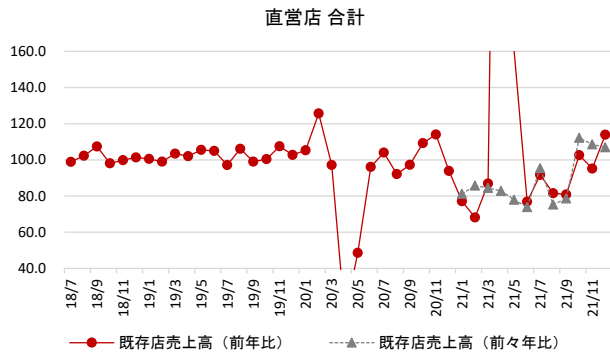
出所: 会社資料、三田証券

会社概要

物語コーポレーションは、愛知県を本拠地とし、「焼肉きんぐ」等を全国展開する外食企業。郊外ロードサイド店舗が中心。2021年6月末店舗数は、国内584店舗(直営340店舗、FC229店舗)、海外15店舗(直営)。21/6期売上高640億円。

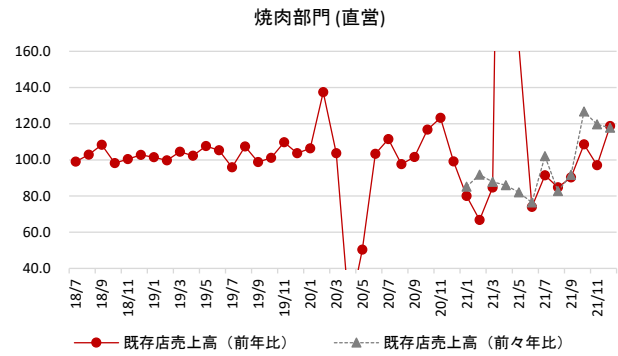
物語コーポレーション 月次既存店売上高データ

図表: 月次データ (直営)



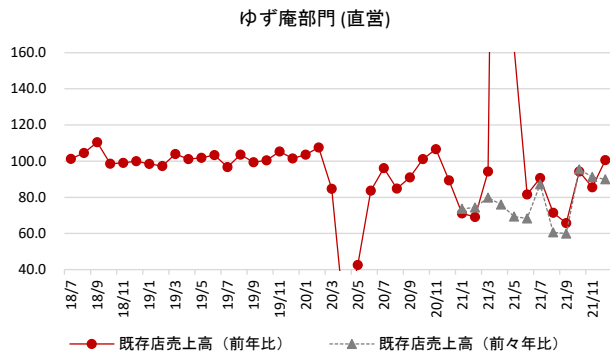
出所: 会社資料、三田証券

図表: 月次データ (直営)



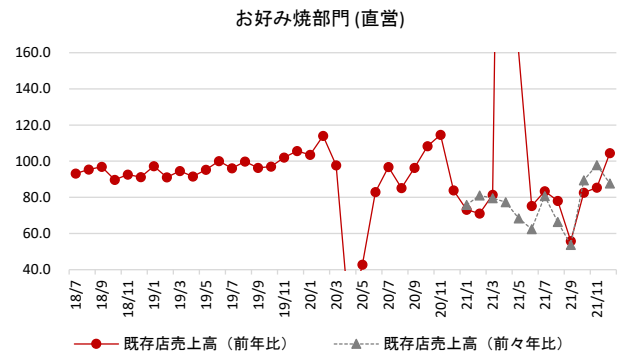
出所: 会社資料、三田証券

図表: 月次データ (直営)



出所: 会社資料、三田証券

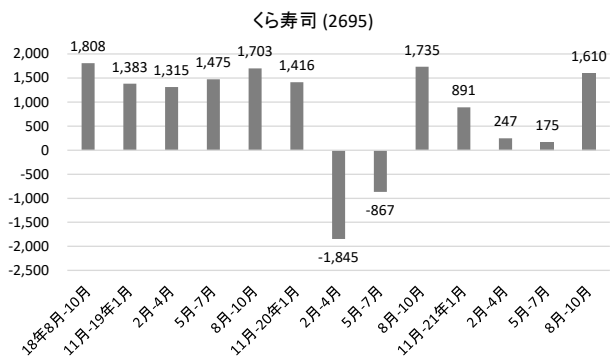
図表: 月次データ (直営)



出所: 会社資料、三田証券

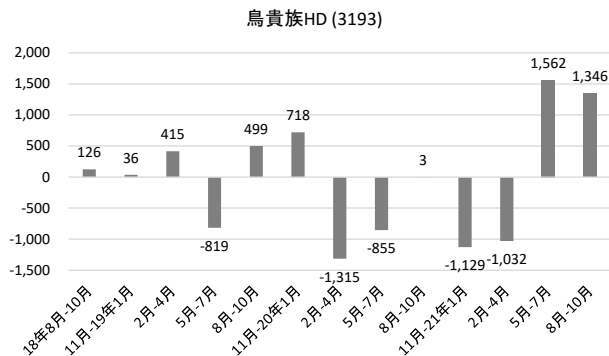
三田証券がカバーする外食業者の税前利益

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



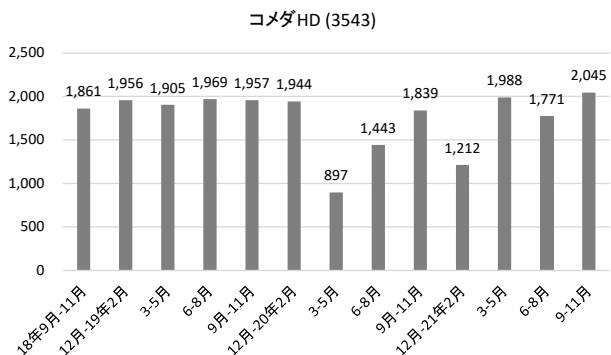
出所: 会社資料、三田証券

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



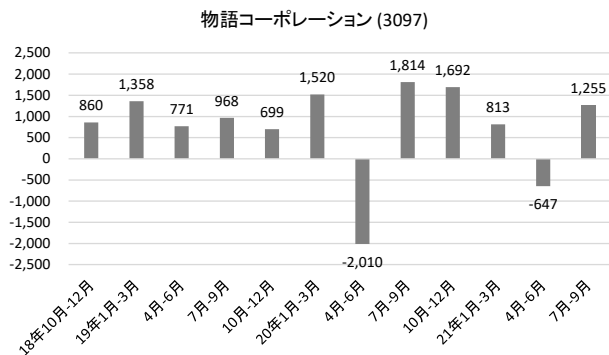
出所: 会社資料、三田証券

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



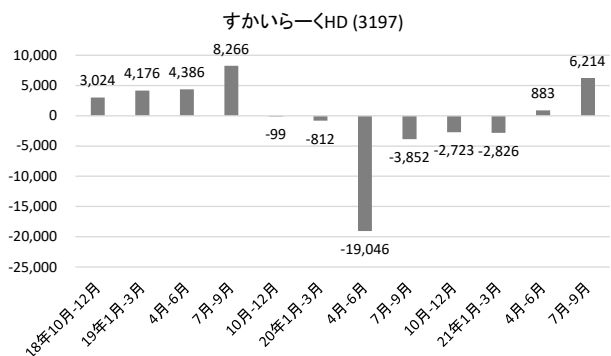
出所: 会社資料、三田証券

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



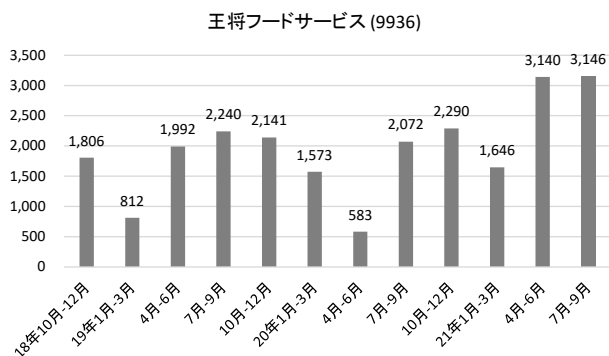
出所: 会社資料、三田証券

図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



出所: 会社資料、三田証券

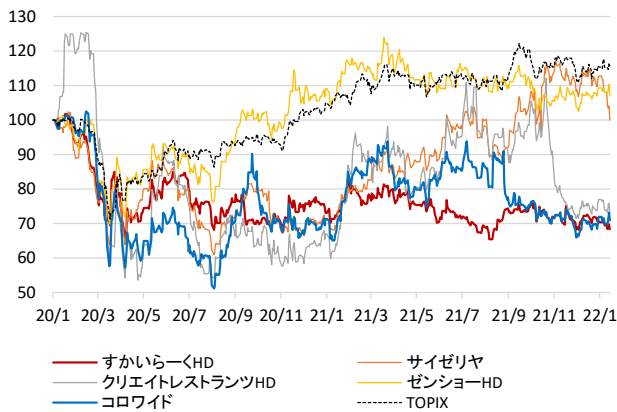
図表: 四半期ベース税前利益 (百万円)



出所: 会社資料、三田証券

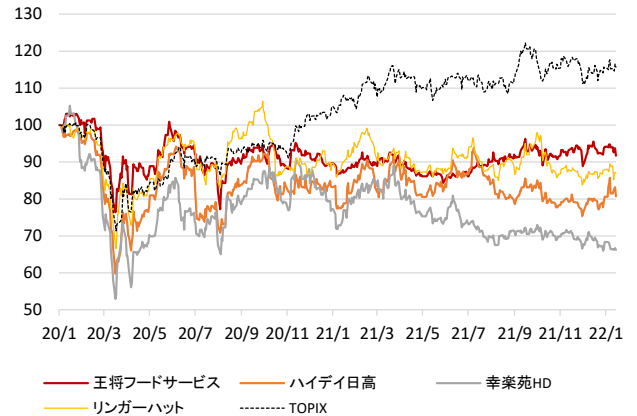
外食業者株価推移

図表: 外食業者株価推移 (ファミレス、総合型)



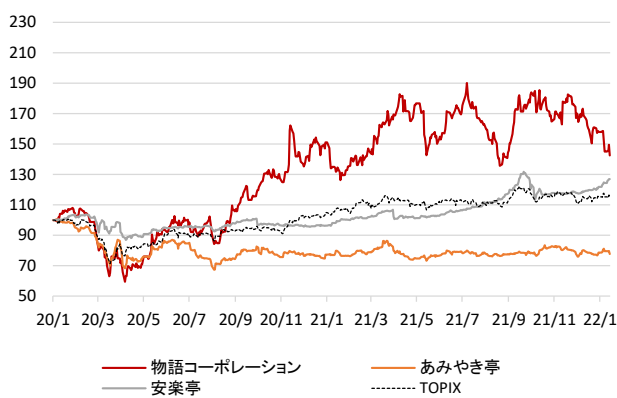
出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019年末を100として指数化

図表: 外食業者株価推移 (中華料理)



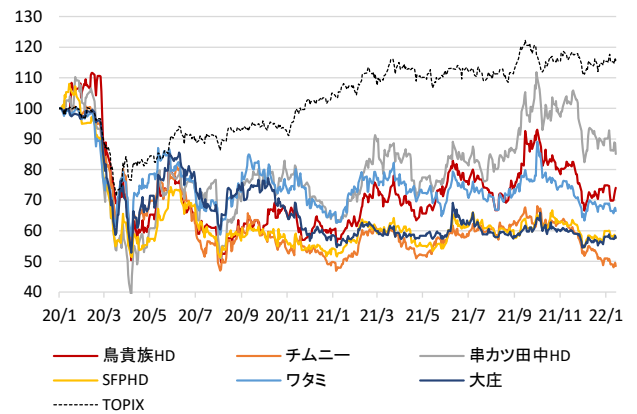
出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019年末を100として指数化

図表: 外食業者株価推移 (焼肉)



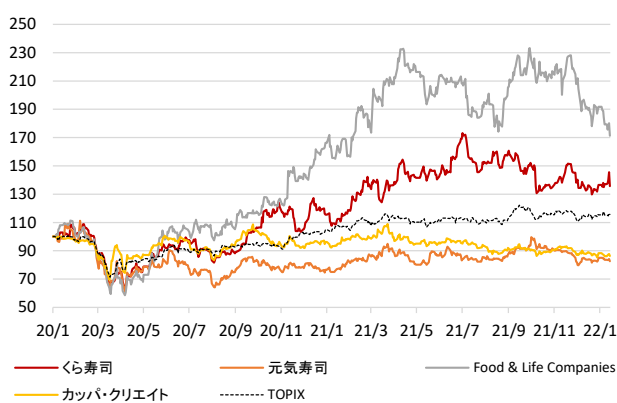
出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019年末を100として指数化

図表: 外食業者株価推移 (居酒屋)



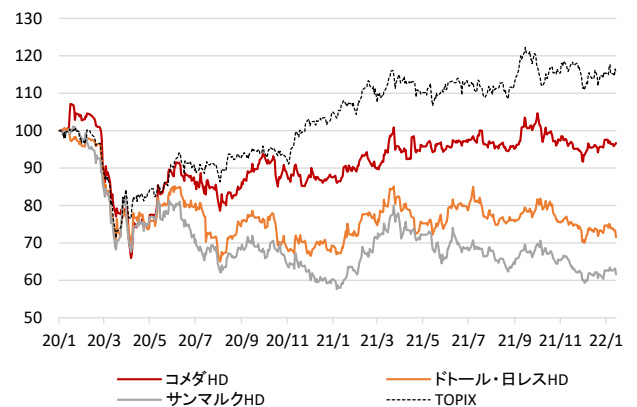
出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019年末を100として指数化

図表: 外食業者株価推移 (回転寿司)



出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019年末を100として指数化

図表: 外食業者株価推移 (喫茶店)



出所: Bloomberg Finance LP 資料、三田証券 注: 2019年末を100として指数化

留意事項

【アナリストによる証明】

本レポートに示された有価証券や発行体に関する見解は、本レポートの表紙に記載されたアナリスト個人の見解を正確に反映したものであることをここに証明します。また、当該アナリストは、直接間接を問わず、本レポートで特定の見解を表明することに対して報酬を受領していないこと、また、報酬の受領を約していないことをここに証明します。

【目標株価及びレーティングについて】

レーティングの定義は以下の通りです。

目標株価及びレーティングの対象期間は今後 12 カ月程度です。

Buy：目標株価設定・変更時において予想するトータルリターン（目標株価の株価からの乖離率＋予想配当利回り）が+15%以上と判断する銘柄。

Hold：目標株価設定・変更時において予想するトータルリターン（目標株価の株価からの乖離率＋予想配当利回り）が-15%から+15%の間にあると判断する銘柄。

Sell：目標株価設定・変更時において予想するトータルリターン（目標株価の株価からの乖離率＋予想配当利回り）が-15%以下と判断する銘柄。

RS：一時的に目標株価及びレーティングを停止した銘柄。

NR：目標株価又はレーティングを付与しない銘柄。

【利益相反関係の可能性について】

三田証券株式会社及びその関連会社は、本レポートに記載された企業に対して投資銀行業務に関するサービスを提供する等、同企業と取引を行なっている、又は今後行なう可能性があります。したがって、本レポートを閲覧される投資家の皆さまは、本レポートの客観性に影響を与える利益相反関係が当社に発生する可能性があることを予めご了承ください。三田証券株式会社は、本レポートに掲載されている銘柄の株式について、今後保有し、又は売買する可能性があります。また、三田証券株式会社は、本レポートで示される投資判断や見解と相反する又は整合しない態様で、自己において売り又は買いのポジションを有する可能性があります。本レポートはあくまでも投資判断の参考のための一つの要素としてご参照ください。

【重要な開示事項】

1. 三田証券株式会社は、本レポートの対象会社と親会社、子会社、関連会社または関係会社の関係にあります：該当なし
2. 三田証券株式会社の役員は、本レポートの対象会社の役員を兼任しています：該当なし
3. 三田証券株式会社は、本レポートの対象会社の発行済み普通株式等総数の5%以上を保有しています（前月末時点）：該当なし
4. 三田証券株式会社は、本レポートの対象会社の有価証券の募集または売出し等に際し、過去 12 ヶ月間に主幹事会社または共同主幹事会社を務めました：該当なし
5. 本レポートの表紙に記載されたアナリストは、本調査レポートの対象会社の役員、顧問に就任しています：該当なし
6. 本レポートの表紙に記載されたアナリストの家族は、本調査レポートの対象会社の役員、顧問に就任しています：該当なし
7. 本レポートの表紙に記載されたアナリストまたはその家族は、本調査レポートの対象会社の有価証券（普通株式、社債、転換社債型新株予約権付社債など）を保有しています：該当なし

【その他の留意事項】

本レポートの内容・記述は、一般に入手可能な公開情報に基づき、アナリストの取材により必要な補充を加え作成されたものです。本レポートの作成者は、インサイダー情報の使用はもとより、当該情報を入手することも禁じられています。本レポートに含まれる情報は、正確かつ信頼できると考えられていますが、その正確性が客観的に検証されているものではありません。本レポートは投資家が必要とする全ての情報を含むことを意図したものではありません。本レポートに含まれる情報は、金融市場や経済環境の変化等のために、最新のものではなくなる可能性があります。本レポート内で直接又は間接的に取り上げられている株式は、株価の変動や発行体の経営・財務状況の変化、金利・為替の変動等の要因により、投資元本を割り込むリスクがあります。過去のパフォーマンスは将来のパフォーマンスを示唆し、または保証するものではありません。本レポート内で示す見解は予告なしに変更されることがあり、三田証券株式会社は、本レポート内に含まれる情報及び見解を更新する義務を負うものではありません。三田証券株式会社は、投資家が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。当社が行う情報提供に関しましては、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、将来の結果をお約束するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本レポートの著作権は三田証券株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。本レポートは目論見書その他の募集書面を構成せず、証券の勧誘行為が認められていない国・地域において、いかなる証券についての販売の申し出又は購入の申し出の勧誘を意図するものではありません。本レポートの交付を受けたいかなる者も、本レポートを交付、回覧もしくは配布してはならず、又は他の何人に対しても、本レポートを複製し、付与し若しくは閲覧に供してはなりません。

【英語版レポートに関する免責事項】

本レポートは日本語版が正規版であり、英語版レポートは日本語版を英語に翻訳したものです。日本語版と英語版の内容に齟齬がある場合、常に日本語版が優先します。三田証券株式会社は、英語版レポートの内容の正確性、完全性等についていかなる保証をするものではありません。

【金融商品取引法における表示事項（手数料及びリスク情報等）】

本レポートの記載の内容に従ってお取引をされる場合、各サービス又は各商品ごとに所定の手数料や諸経費等をお客様にご負担いただく場合があります。また、各サービス又は各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各サービス又は各商品ごとに手数料等、リスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該サービス又は商品等の契約締結前交付書面又はお客様向け資料をよくお読みください。

商号等：三田証券株式会社 / 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 175 号
加入協会：日本証券業協会